

Recommended Books

弊社刊行物のお問い合わせ・ご購入は、最寄りの医書専門店または医学書院販売部(TEL: 03-3817-5659)まで、弊社ホームページ(<http://www.igaku-shoin.co.jp>)からのオンライン注文も可能です。

疾病論—人間が病気になるということ(第2版)

著: 井上 泰
B5判・376ページ・2011年
定価 3,360円(本体 3,200円+税 5%)
ISBN978-4-260-01019-1



人が病気になるとは? 単に病態生理をシェーマを駆使し明快に解説するのみでなく、患者の日常風景を小説風に描写し病気の成り立ちを語る。初版で選んだ

重要疾患 47例にさらに 11例を加え、収載項目と内容を充実。免疫学や癌の知識を豊富に盛り込み、急性冠症候群、IgA 腎症、非アルコール性脂肪性肝疾患、脳腫瘍、MRSA 肺炎、間質性肺炎など主流をなしつつある病像を的確にとらえ、日常的な観察のポイントを明確に提示する。

感染症ケースファイル

監修: 喜舎場 朝和/遠藤 和郎, 執筆: 谷口 智宏
B5判・272ページ・2011年
定価 3,990円(本体 3,800円+税 5%)
ISBN978-4-260-01101-3

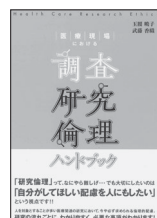


本書は以下の5点の特徴がある。①著者自身の経験症例の詳細な情報と豊富な写真、②case conference 方式により、知らぬ間にプレゼン法が身につく、

③リアリティのある塗抹標本、④どんな施設でも活用できる「適正使用の5原則」を遵守した抗菌薬の選択、⑤市中病院での抗菌薬の感受性表と、適正使用の DOs & DON'Ts の提示。本書は専門医のいない市中病院で、感染性疾患を当たり前にかつ楽しく診療することを伝えている。

医療現場における調査研究倫理ハンドブック

著: 玉腰 暁子/武藤 香織
執筆協力: 大久保 功子
A5判・144ページ・2011年
定価 2,100円(本体 2,000円+税 5%)
ISBN978-4-260-01077-1



人を対象とする多くの医療関連の研究において、今や必須とされる倫理的な配慮。「研究倫理」というと難しげだが、実際には「自分がしてほしい配慮を人にもしたい」という視点が大切だと考える著者らが、研究の流れに沿ってコンパクトに整理したハンドブック。研究方法ごとに留意する点、対象者に応じた配慮、取り扱う材料ごとの対応などを具体的に紹介し、課題解決に向けた実践的なヒントをわかりやすく提供する。

臨床の詩学

著: 春日 武彦
四六変判・336ページ・2011年
定価 1,890円(本体 1,800円+税 5%)
ISBN978-4-260-01334-5

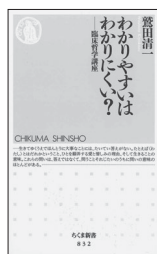


患者が何気なく洩らした言葉、医療者が捨て鉢につぶやいた言葉が、行き詰まった事態をごろりと動かすことがある。現場で働く者なら誰でも知っているそんな「臨床の奇跡」を、手練れの精神科医が折りを込めて書き留める。医療者を深いところで励ます、意外で、突飛で、切実な言葉のコレクション。

患者が何気なく洩らした言葉、医療者が捨て鉢につぶやいた言葉が、行き詰まった事態をごろりと動かすことがある。現場で働く者なら誰でも知っているそんな「臨床の奇跡」を、手練れの精神科医が折りを込めて書き留める。医療者を深いところで励ます、意外で、突飛で、切実な言葉のコレクション。

◆本号の「Master Interview」(P. 264)でお話を伺った、鷲田清一先生がご執筆の他社書籍をご紹介します。

わかりやすいはわかりにくい? —臨床哲学講座



著: 鷲田 清一
発行: 筑摩書房 TEL: 048-651-0053
新書判・192ページ・2010
定価 714円(本体 680円+税)
ISBN: 978-4-480-06539-1

ひとはなぜ、自由が拡大したのに不自由を感じ、豊かな社会になってかえって貧しさを感じるのか—現代人は、このようなパラドックスに気づき、向き合い、引き受けねば幸福にはなれない。「自由」「責任」の本質は何か。「弱さの力」とは何なのか。哲学の発想から、常識とは違う角度からものを見る方法を、読者とともに考える。人々に対話し思索を深める「臨床哲学」を実践してきた著者が、複雑化した社会のなかで、自らの言葉で考え、生き抜いていく力をサポートする。